

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年1月5日 (2012.1.5)

【公表番号】特表2011-506457(P2011-506457A)

【公表日】平成23年3月3日 (2011.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-009

【出願番号】特願2010-538073(P2010-538073)

【国際特許分類】

A 0 1 N 25/34 (2006.01)

A 0 1 N 33/20 (2006.01)

A 0 1 N 59/16 (2006.01)

A 0 1 N 31/16 (2006.01)

A 0 1 N 37/02 (2006.01)

A 0 1 N 33/12 (2006.01)

A 0 1 P 3/00 (2006.01)

A 0 1 N 37/40 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 25/34 A

A 0 1 N 33/20 1 0 1

A 0 1 N 59/16 A

A 0 1 N 31/16

A 0 1 N 37/02

A 0 1 N 33/12 1 0 1

A 0 1 P 3/00

A 0 1 N 37/40

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月1日 (2011.11.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の主面を含む第 1 の面を有する基板と、

前記基板の第 1 の面に画定される複数の微小構造化ウェルであって、該複数の微小構造化ウェルのそれぞれは底部によって少なくとも部分的に画定され、前記底部は前記基板の前記第 1 の主面から所定の距離だけ離間され、前記複数の微小構造化ウェルのそれぞれは前記第 1 の主面の平面内に少なくとも 1 つの寸法を有し、前記少なくとも 1 つの寸法が 1 0 0 0 マイクロメートル未満であるような複数の微小構造化ウェルと、

前記基板の第 1 の主面から所定の距離だけ離間した上面を有するように前記複数の微小構造化ウェルの少なくとも一部のものの内部に配置された抗微生物物質と、を備える、微小構造化抗微生物フィルム。

【請求項 2】

第 1 の面を有する基板であって、前記第 1 の面が複数の交差壁部の上面によって少なくとも部分的に画定される第 1 の主面を含む、基板と、

前記基板の第 1 の面に画定された複数の微小構造化ウェルであって、該複数の微小構造化ウェルのそれぞれは底部と少なくとも 3 つの前記複数の交差壁部とによって少なくとも

部分的に画定され、前記底部は前記基板の第 1 の主面から所定の距離だけ離間され、前記複数の微小構造化ウェルのそれぞれが前記第 1 の主面の平面内に少なくとも 1 つの寸法を有し、前記少なくとも 1 つの寸法が 1 0 0 0 マイクロメートル未満であるような複数の微小構造化ウェルと、

前記基板の第 1 の主面から所定の距離だけ離間された上面を有するように前記複数の微小構造化ウェルの少なくとも一部のものの内部に配置された抗微生物物質と、を備える微小構造化抗微生物フィルム。

【請求項 3】

第 1 の抗微生物フィルムと第 2 の抗微生物フィルムとを有する抗微生物フィルムアセンブリであって、前記第 1 の抗微生物フィルム及び前記第 2 の抗微生物フィルムのそれぞれが、

第 1 の主面を有する第 1 の面と、第 2 の主面を有する第 2 の面とを有する基板と、

前記基板の前記第 1 の面に画定され、前記基板の前記第 1 の主面から陥入した複数の微小構造化ウェルと、

前記複数の微小構造化ウェル内に配置された抗微生物物質と、を有し、

前記第 1 の抗微生物フィルムが前記基板の前記第 2 の主面に結合された接着剤を有し、前記第 1 の抗微生物フィルムの前記接着剤が前記第 2 の抗微生物フィルムの前記第 1 の主面と接触する、抗微生物フィルムアセンブリ。

【請求項 4】

微生物による汚染から表面を保護するための方法において、

第 1 の抗微生物フィルム及び第 2 の抗微生物フィルムを提供する工程であって、前記第 1 の抗微生物フィルム及び前記第 2 の抗微生物フィルムのそれぞれが、

第 1 の主面を有する第 1 の面と、第 2 の主面を有する第 2 の面とを有する基板と、

前記基板の前記第 1 の面に画定され、前記第 1 の主面から陥入した複数の微小構造化ウェルと、

前記複数の微小構造化ウェル内に配置された抗微生物物質と、

前記第 2 の主面に結合された接着剤と、を有し、

前記第 1 の抗微生物フィルムの前記接着剤が前記第 2 の抗微生物フィルムの前記第 1 の主面と接触し、前記第 2 の抗微生物フィルムの前記接着剤が、保護しようとする表面に結合される、工程と、

前記第 1 の抗微生物フィルムの前記接着剤を前記第 2 の抗微生物フィルムの前記第 1 の主面との接触状態から剥離することによって前記第 2 の抗微生物フィルムから前記第 1 の抗微生物フィルムを剥離して、前記第 2 の抗微生物フィルムの前記抗微生物物質を露出させる、工程と、を含む方法。